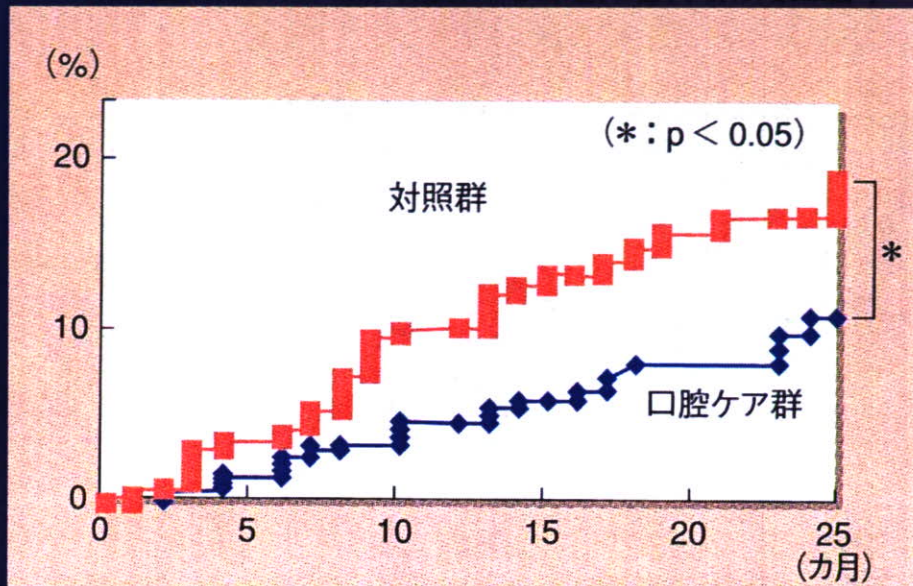


肺炎発症率の調査 (米山ら2002年)



口腔ケア群と対照群の発熱発生者数、肺炎発症者数、肺炎による死亡者数

	口腔ケア群	対照群
発熱発生者数(%)	27(15)	54(29) **
肺炎発症者数(%)	21(11)	34(19) *
肺炎による死亡者数(%)	14(7)	30(16) **

(*: p < 0.05、** : p < 0.01)

食事介助

1. 食物性状(粘性・凝集性)の調整
トロミの濃度:食物が一塊となり凝集性を保ち、ゆっくりと流れ落ちる程度の濃度に調整する
2. 姿勢の調節
3. 食器の確認
4. 食膳への集中を促す
5. 摂食指導:一口量と口に運ぶペースを監視する
誤嚥の兆候が認められたら確実に排出させる
6. 逆流の予防:食後2時間は横にならない

飲み込みやすくする調理法

- ★ 片栗粉やゼラチンの利用
- ★ 温度感のある料理をメニューに加える
- ★ パサパサする料理にはあんをかける
- ★ マヨネーズ・ケチャップ・ヨーグルトを利用
- ★ 表面に味をつける工夫
- ★ 料理に脂肪を加える
- ★ 見た目にきれいな形・盛り付けに工夫を!

統合失調症患者の 活動・休息リズムに関する調査

田中聡史^a、白川修一郎^a、高原円^c、稲本淳子^b、
加藤進昌^b、山田光彦^a

a:国立精神・神経センター精神保健研究所老人精神保健部

b:昭和大学附属烏山病院

c:神奈川歯科大学成長発達歯科学講座高次脳・口腔科学研究センター

背景

統合失調症患者では、
活動・休息リズムの乱れが多いとされている

昼間:睡眠相が出現すると...

注意力・判断力の低下
筋力、嚥下機能の低下



交通事故や誤嚥・
窒息などの重大な
事故につながる?

睡眠相が出現しやすい
時間帯に作業療法など
の活動をする



治療効果が
低下する?

夜間:不眠

これまでの知見

統合失調症患者では、

夜間の睡眠障害: **睡眠ポリグラフ**という手法で測定可能

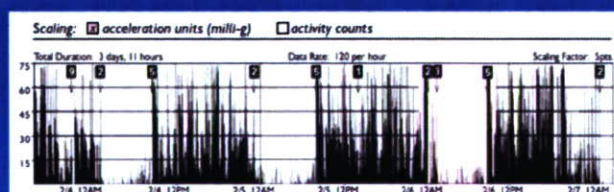
- ・睡眠潜時の延長「なかなか寝つけない」
- ・睡眠維持の障害「夜中に目覚める」
- ・睡眠効率の減少「布団に入っている時間は長いのに眠っている時間は短い」
- ・全睡眠時間の減少「眠れない」

しかし、睡眠ポリグラフでは、**日中も含めた24時間の活動・休息パターン**の測定は困難だった

アクチメトリ



- ・腕時計型の小型活動量測定機器。
- ・侵襲性はほとんどない。
- ・腕時計のように非利き腕に装着するだけで活動量を定量的に測定できる。
- ・普段通りの活動パターンを長期間、連続して測定できる。



これまでの、統合失調症患者に関する アクチメトリを用いた研究

海外では

就床時間の延長
夜間の活動相の増加
日中の仮眠の増加
睡眠相の後退(遅寝遅起)

日本では

行動パターンが以下の3種類に
分類できると仮説した研究が1件あるのみ。
1) 妄想型: 正常者に類似する
2) 緊張型: 活動過多
3) 破瓜型: クシ状になる (東ら、2004)

今回の調査の目的

統合失調症患者の活動・休息リズムを
アクチトラックを用いて測定、解析し、
その特徴を把握する。

測定方法

機器を非利き腕の手関節部に装着し、
連続する8日間、活動量の測定を行う。

測定スケジュール



解析方法

・休息と活動の日内分布と周期性について検討する。

主睡眠の入眠時刻、出眠時刻
睡眠期間
総睡眠時間
睡眠効率
中途覚醒の回数と時間
昼間の活動量

・精神症状、主観的睡眠の質、向精神薬の処方内容
などとの関連についても検討する。

病棟の看護師さん お願いしたいこと

1)入浴時

- 2)かゆみ、かぶれ
- 3)精神症状への対応
- 4)問い合わせへの対応

・機器は日常生活防水ですが、入浴時のみ外していただく
かなければなりません。

- ・入浴時に機器を預かり、
- ・機器着脱の時刻の看護記録への記載を
よろしく願いいたします。

(着脱時刻はデータ解析の時に必要となります。)

病棟の看護師さん お願いしたいこと

1)入浴時

- 2)かゆみ、かぶれ
- 3)精神症状への対応
- 4)問い合わせへの対応

まれに装着部にかゆみ、かぶれが出ることがあります。

発赤などの他覚的所見

なし



測定を継続します。
皮膚の洗浄、機器の軽い水ふきを
お願いいたします。

あり



測定を中止します。機器を外したあと、あらかじめ用意してあるベビーオイルを患部に塗ってください。
また、機器の保管と外した時刻の看護記録への記載をお願いいたします。

病棟の看護師さん お願いしたいこと

- 1) 入浴時
- 2) かゆみ、かぶれ
- 3) 精神症状への対応**
- 4) 問い合わせへの対応

機器を装着することが契機となって、精神症状が増悪するケース(例えば、「機器によって監視されている」などの妄想が出現するなど)がないとも限りません。

その場合には、看護師さんから病棟担当医師へ報告するなどの通常の対応をしてください。

病棟の看護師さん お願いしたいこと

- 1) 入浴時
- 2) かゆみ、かぶれ
- 3) 精神症状への対応
- 4) 問い合わせへの対応**

・もし患者さんから何らかの問い合わせがあった時には、適宜対応をお願いいたします。

⇒ その場で対応できる場合は、対応していただいてかまいません。

⇒ 必要であれば、調査担当者までご連絡ください。
(連絡先などは、配付資料をご覧ください。)

よろしくお願いいたします。